

製品安全データシート

AMYL CINNAMIC ALDEHYDE

作成 : 2016/10/11
改訂 : 2022/11/24

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 AMYL CINNAMIC ALDEHYDE(アミルシナミックアルデヒド)
一般名 アミルシナミックアルデヒド
製品コード
会社名 Eternis Fine Chemicals UK Ltd.
住所 Macclesfield Road, Leek Saffordshire UK T13 8LD
担当部署
担当者(作成者)
電話番号 +44 (0) 1538 392180
FAX番号 +44 (0)1538 399025
メールアドレス
緊急連絡先番号 +44 (0) 1273 289454

販売代理店 サンケミカル株式会社
住所: 東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング
電話番号 03-3661-6681
FAX 03-3661-7055
メールアドレス yano@sun-chemical.co.jp
HP <http://www.sun-chemical.co.jp/>

推奨用途及び使用上の注意
香料原料

★ 2 危険有害性の要約

GHSの分類 分類はメーカーオリジナルのもの

分類 Classification (SI 2019 No. 720)

物理化学的危険性
健康有害性
環境有害性
皮膚感作性 区分1B H317
水生環境有害性 長期(慢性) 区分2 H411

● 絵表示又はシンボル
分類 (EC) NO. 1272/2008による絵表示



● 注意喚起語

警告

● 危険有害性情報

警告語

Hazard Statements	H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	H411	長期継続的影響によって水生生物に毒性
Precautionary Statements	P261	蒸気の吸引をさける。
	P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
	P273	環境への放出を避けること。
	P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用するこ
	P302+352	手についてたら水で洗い流す。
	P321	特定の治療方法はラベルを見る。
	P333+313	皮膚に刺激がある場合、医師の診断をうける。
	P362+364	汚れた衣類は再使用前に洗うこと。
	P391	漏出物をかき集める。
P501	内容物と容器を法令条例に従い廃棄する。	

● 注意書き

【安全対策】

換気の良いところで行うこと。使用しない際は密閉した容器に保管する事。
十分に気を付けて取り扱う事。保管には元の容器を使用する事。
特に高速攪拌時には静電気の蓄積を避ける事(低電気伝導率は項目9を確認して下さい)
電気設備は電気装置の種類、温度帯、材料に適したものを使用する事。

蒸気を大量に吸い込まないこと。
 化学品用の皮膚の保護具を身に着けること。

【応急措置】

吸入した場合 新鮮な空気のところに移し、休息させる。
 皮膚に付着した場合 直ぐにシャワーを浴び、汚染した服を脱ぐ/脱がせる。
 眼に入った場合 10分間は水で十分目をすすぐ。
 飲み込んだ場合 水で口をゆすいで、少量の飲み水を与える。意識不明の患者に飲み水を与えない事。
 無理に吐き出すように仕向けないこと。直ぐに医師の診断を受ける事。

【保管】

酸化剤を近づけないこと。
 空気に触れると、ゆっくり酸化する為、密閉して保管すること。

【廃棄】

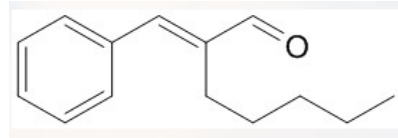
可能なリサイクルをする。難しい場合、廃棄物処理工場に送る。
 都道府県の自治体の許可を受けた産業廃棄物処理業者に依頼して処理する事。
 各自治体の指示に従うこと。

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分に該当しない	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 単一化合物
 化学名又は一般名 アミルシナミックアルデヒド
 慣用名・別名 α-ペンチルシナムアルデヒド
 alpha-pentylcinnamaldehyde

CAS番号 78605-96-6 or 122-40-7
 REACH登録番号 01-2119978288-18-0000



官報公示整理番号(化審法、安衛法) 3-2657
 GHS分類に寄与する成分

原料	CAS	EC番号	配合%		CLPハザード分類	備考
^2-Benzylidene heptanal (2E)	78605-96-6	800-696-3	>93		皮膚感作性 H317、水性慢性毒性 区分2 H411	
^2-Benzylidene heptanal (2Z)	101365-33-7	無し	<5		皮膚感作性 H317、水性慢性毒性 区分2 H411	
2-pentylnon-2-enal	3021-89-4	221-172-5	0.5~<1%		分類できない	
^2-tert-butyl hydroquinone	1948-33-0	217-752-2	0.2		急性毒性 区分4 H302; 眼の刺激 区分2、水生慢性毒性 区分1	安定剤
^2-methyl-3-Phenylprop-2-enoate	25783-05-3	202-929-8	0.025~<0.25%			
2-pentyl-3-phenylprop-2-en-1-ol	101-85-9	800-696-3	0.025~<0.25%			

追記
 英文オリジナルのMSDSではCAS番号が、主な成分として

4 応急処置

吸入した場合 新鮮な空気のところに移し、休息させる。襟、ベルトがあれば気道確保のために緩める。
呼吸困難の場合は、適切な訓練を受けた医療従事者から酸素吸引を与える。

皮膚に付着した場合 直ぐにシャワーを浴び、汚染した服を脱ぐ/脱がせる。

眼に入った場合 10分間は水で十分目をすすぐ。

飲み込んだ場合 水で口をゆすいで、少量の飲み水を与える。意識不明の患者に飲み水を与えない事。
無理に吐き出すように仕向けないこと。直ぐに医師の診断を受ける事。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

詳細な徴候及び症状は項目11-有害情報に記載する

医師に対する特別な注意事項

患者を病院に連れて行く際、医療従事者に本製品の物質データシートを見せるか、
本製品の情報を提供する事。

5 火災時の措置

職番のあんぜんサイトから引用

消火剤 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂

使ってはならない消火剤 棒状水

火災時の措置に関する 燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避
特有の危険有害性

特有の消火方法 消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 漏出には耐薬品性衣服(オーバーオール)、長靴、耐薬品用
保護具及び緊急時措置 のPVC製手袋と有機ガス用呼吸器を着用して下さい。
適切な訓練を受けていない方の取り扱いしないようにすること。
項目8の保護具を着用すること。
取扱い後は、手を洗うこと。
身体に物質が触れないようにすること。
漏出物の上を歩かない。

環境に対する注意事項 本製品を河川、下水に流さないようにする。
水にわずかに溶ける。水生環境に毒性が出るおそれは低い。
頻繁な漏出は水生環境に悪影響を及ぼす。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 可能なら本製品を回収する。
及び、二次災害の防止策 漏出物を吸い込まないように風上から砂や不活性物質で零れた物質を吸収し、安全な場所に移
吸収性ソックスや排水口保護具で製品が排水口に流れ出ないようにする。
本製品を取り除いた後、製品の跡を水で洗い流す。
こぼれた本製品の回収に使用した吸収材は使用後に密閉容器に入れ廃棄する。
回収した漏出物は、物質そのものとして取り扱うこと。
廃棄処理は産業廃棄物処理業者に委託すること。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
(局所排気、全体換気)

換気の良いところで行うこと。使用しない際は密閉した容器に保管する事。
十分に気を付けて取り扱う事。保管には元の容器を使用する事。
蒸気を大量に吸い込まないこと。
特に高速攪拌時には静電気の蓄積を避ける事
(低電気伝導率は項目9を確認して下さい)
電気設備は電気装置の種類、温度帯、材料に適したものを使用する事。
(項目9を確認して下さい)

安全取扱注意事項 接触回避	酸化剤に近づけないこと。
衛生対策	緊急シャワーと洗眼設備を作業場の近くに備えつける事。 飲食物、飼料のちかくでは取り扱わない。
取扱注意	化学物質が不活性な状態の場所に移動させて、取り扱うこと。 保護具を着用の上、汚れた場合直ぐに洗い流すこと。 保護具なしで、破損した容器に触れない。 皮膚に触れたら直ぐに洗い流すこと。 取扱い場所では飲食禁止。 取扱い後は直ぐに手を洗うこと。
保管	<p>安全な保管条件</p> <p>酸化剤を近づけないこと。 適切な保管材料； 316ステンレススチール。 適切なシール材； パーフロロエラストマー（Kalrez社製）。 適切なガスケット； グラファイトでサポートされた316ステンレススチール もしくはアスベストフリーのアラミド複合体</p> <p>保管容器は地域の規制に従った対応を取ること。 容器を密閉保管すること。 換気のよい涼しい場所に保管すること。 直射日光、火気厳禁</p>

安全な保管保管包装材料 316ステンレススチール

8 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

日本産業衛生学会（ 2007 年版） 未設定
ACGIH（ 2007 年） 未設定

DNEL 推定無影響レベル

労働者 吸引 長期 全身効果 1.7mg/m³
労働者 経皮 長期 全身効果 1.25mg/kg/day
労働者 経皮 長期 全身効果 0.24mg/cm²
労働者 経皮 短期 局所効果 0.24mg/cm²
一般 吸引 長期 全身効果 0.43mg/m³
一般 経皮 長期 全身効果 0.625mg/kg
一般 経皮 長期 局所効果 0.12mg/cm²
一般 経口 長期 全身効果 0.15mg/kg/day

PNEC 予測無影響濃度

淡水： 0.0011 mg/l
海水： 0.00011 mg/l
断続的排水： 0.011 mg/l
堆積物（淡水）： 0.924 mg/kg
堆積物（海水）： 0.092 mg/kg
STP： 0.184 mg/kg

設備対策

（純粋な状態）薄めていない状態では換気の良くない密室で使用しないこと。
保護具を着用すること。職場の暴露レベルを管理して、計測すること。
必要であれば、呼吸器の保護具を着用すること。
全体換気、局所換気を用いること。
暴露濃度の管理は定期的に監視及び、更新すること。
可能な限り暴露レベルは下げよう努めること。

保護具

通常の作業時では項目6をご覧ください。

呼吸用保護具

もし、曝露レベルが高い場合、
化学品用有機ガス用フィルター（GEN141）を身に着けること。

手の保護具

PVC製の手袋を身に着けること。

眼の保護具

取扱時、サンプル時は、化学品用の眼鏡を身に着けること。
（スキー用のような、眼を隙間なく覆うもの）

皮膚及び身体の保護具 化学品用の皮膚の保護具を身に着けること。

9 物理的及び化学的性質

物理的状態	液体
色	透明もしくは淡黄色
臭い	フローラル、ジャスミン臭
融点・凝固点	-1.6°C/29.1°F @101.3kPa
沸点、初留点及び沸騰範囲	294.9°C/562.8°F @1013hPa
可燃性	引火点以上で点火したら可燃する。
爆発下限及び爆発上限/可燃限界	爆発性ではない。
引火点	140°C(密閉)
自然発火点	231° C/447.8° F @ 1013 hPa
分解温度	知見なし
pH	データなし
動粘性率	13mPas (20°C)
溶解度	4.09 mg/l @ 25° C/77° F 水
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	0.29Pa (20°C)
蒸気密度	7.0(空気1)
密度及び/又は相対密度	0.966(20°C)
相対ガス密度	データなし

その他

ヘンリーの法則	2.6 Pa m ³ /mol
電気伝導率	0.040 μ S/cm
Gas Group and Temperature CLASS	IIB Class T3

10 安定性及び反応性

反応性	通常の保管では安定
化学的安定性	酸化剤に反応する。
危険有害反応可能性	空気に触れると、ゆっくり酸化する
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	酸化剤、熱、圧力
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	
その他	水とは反応しない。 危険重合はない。

★ 11 有害情報

オリジナルのSDSの情報

急性毒性

	試験方法	種族	服用量	備考
LD50 経口		ラット	3730mg/kg	
LD50 経皮	OECD402	ラット	>2000mg/kg	
LC50 吸入	OECD403	ラット	>2.12 mg/l/4H	

皮膚腐食性及び皮膚刺激性/眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

呼吸器感受性または皮膚感受性

	試験方法	種族	服用量	備考
皮膚腐食刺激	OECD404	ラビット	0.5ml/4h	紅斑/痂皮スコア2:13日以内に可逆。浮腫スコア2: 浮腫の端の箇所がわずかに浮腫 9~11日で可逆
眼刺激	EU B5	ラビット	0.1ml 1秒	角膜スコア:0。虹彩スコア0。結膜スコア:0.44。ケモシスコア:0.22
呼吸器感受性				使用可能なデータでは基準値に満たない
皮膚感受性	OECD429	マウス	EC3	局所リンパ節
皮膚感受性	パッチテスト	ヒト		感受性無し

感受性とはアレルギーのことです。

繰り返し服用した場合

	試験方法	種族	服用量	曝露	備考
NOAEL90 日経口	OECD408	ラット	30mg/kgbw /day	-	
NOAEL90 日経皮		ラット	1254mg/kgb w/day		読み取り法 ヘキシルシ ナミックアル デヒド

生殖細胞変異性

	試験方法	種族	服用量	備考
In Vitro	OECD471	サルモネ ラ菌 バクテリ	陰性	陰性 重量 証拠
In Vivo 小核分析		マウス	陰性	マウス染色 体異常 陰 性

発がん

使用可能なデータからでは基準値を満たしていない。
IARC該当
の物質は
ない。

生殖毒性

	試験方法	種族	服用量	備考
生殖力	NOAEL	ラット	100mg/kgb w/day	受胎力
催奇性	NOAEL	OECD414 ラビット	60mg/kg/da y	

特定標的臓器毒性、単回曝露

	試験方法	種族	服用量	備考
NOAEL	OECD408	ラット	30mg/kg	

特定標的臓器毒性、反復曝露

	試験方法	種族	服用量	備考
NOAEL	OECD408	ラット	30mg/kg/day 125mg/kg/d	
LOAEL		ラット	ay	皮膚

吸引性呼吸器有害性

使用可能なデータからでは基準値を満たしていない。

一般情報

症状の重度は期間と濃度により異なる。

★ 12 環境毒性情報

生態毒性

水生毒性

結果	試験方法	種族	服用量	曝露	備考
LC50	OECD203	魚	3mg/L 幾何平均	96h	ゼブラフィッ シュ
EC50	OECD202	大ミジンコ	1.1mg/L	48h	
EC50	OECD201	藻	1.88mg/L 成長率	72h	ブセウドキ ルクネリエラ
NOEC	OECD201	藻	0.154mg/L 成長率	72h	ブセウドキ ルクネリエラ
EC50	OECD209	下水泥	>	3h	
EC50	OECD209	微生物	>		

35 days

H411 水生急性毒性 区分2

残留性・分解性

OECD301F試験で、10日後の水中分解性は66%だった。
容易に分解する。

生体蓄積性

生態蓄積要因は568.2(BCFBAF)と見積もられています。
生態蓄積が高いことを示します。
Log Kow : 4.7 @24°C/75.2F

土壤中の移動性

ヘンリーの法則より空気と水の明確な仕切りがない事を示している。
土壤の吸収係数Kocは計測上8400。OECD121では土への拘束値が高い。
吸着/脱離 係数 土壤 Log Koc 3.88~3.96@30°C OECD121

オゾン層への有害性

知見なし

よって、水性生物に毒性がある。

要約

以上のデータから、環境に有害であるのは明らかである。水生慢性毒性は区分2。
PBTとvPvBはEU基準で分類されない。

13 廃棄上の注意

職場のあんぜんサイトから引用

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器及び包装

スチールドラムは状態が良ければ、清掃後にリサイクルが可能、
もしくはスクラップ金属にリサイクルが可能。
IBCとプラスチックドラムも状態が良ければリサイクルが可能。
プラスチック部分の臭いは無視できる。
リサイクルに適していない場合、清掃後に細かく裂く、もしくは埋める。
清掃後可能ならば、プラスチック粒にリサイクルする。
IBCのケージもリサイクルが可能。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制

国連番号 3082
品名(国連輸送名) (Amyl Cinnamic Aldehyde)
環境に有害な物質、液体。n.o.s

国連分類 分類無し
(輸送における危険有害性クラス)

容器等級 Group III Minor Danger

MARPOLによるばら積み輸送される液体物質
(該当・非該当)

国内規制
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 非該当

応急措置指針番号 非該当

その他

ADR/AIR/SEA CLASS No. 9
ADR HAZARD ID No. 90
SUBSIDIARY CLASS No. 分類されない
HAZCHEM 3Z



LABEL/MARK FOR CONVEYANCE(ENVIRONMENTAL MARK FOR ROAD/AIR - MARINE POLLUTANT SEA)

15 適用法令

法令の名称を含む関係法令情報

化管法 現状非該当。第二種指定化学物質 2-116(2023年4月1日以降は該当)
安衛法 通知表字対象 2022年3月時点 非該当
消防法 通知表示対象 2025年4月 該当
第2条危険物第4類第3石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ

関連法
物質と混合物の分類、ラベル、梱包は第5番です(Regulation EC1272/2008)

Dangerous Preparations Directive 1999/45/EC, currently at 2nd Adaptation
Registration, Evaluation, Authorisation and restriction of Chemicals (REACH) Regulation 1907/2006
^Cosmetics Regulation EC 1223/2009.

インベントリー
TSCA
DSL
EINECS
AICS
ECL
PICCS
ENC&ISHL
SEISS
ASIA-PAC
NFPA レーティングコード
健康1 可燃性1 反応性0

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報
引用文献 nite 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

Tennants fine chemical SDS ACA
ETERNIS FINE CHEMICALS UK SDS ACA 2022年11月21日
職場のあんぜんサイト

その他
記載内容の問い合わせ先

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の見出しを対象としたものではありません。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

2019年改正JIS Z7252/Z7253

- ★ リスクアセスメント必須事項
- ラベルに記載する情報
- ▲ 安衛法ラベルの注意書きの項目
(但し、ラベルに全て載せる必要はない)